

みんなの会ニュース

2014年 6月 No.20

発行 市政にみんなの声を多摩市民の会

連絡先 多摩市永山4-2-4-101

永山ほっとセンター内

TEL042-311-4338



新田孝・代表

2期目の阿部市政に

期待するもの

市政にみんなの声を多摩市民の会代表 新田 孝

四月十三日投票の市長選挙で、「みんなの会」が応援した阿部裕行さんが再選され、二期目(阿部市長のいう「第二ステージ」)がスタートしました。「みんなの会」として期待したいことについて代表の見解をまとめました。構成団体のみなさんからの「意見や要望をお待ちしています。」(編集部)

市政の方向性に関して

第一に、公共施設問題にどう臨むか?です。住民との協議、合意づくりが何よりも重要です。「見直し計画」の背景に横たわる財源問題についても、住民とともに解決していく姿勢を市長には求めたい。さらに、

公共施設そのものが、地域づくりの要、住民運動の要だという観点が重要です。環境の変化に対応して機能の見直しも検討しつつ、その要となる施設を、どうすれば維持できるか?を前提に考えるべきです。

第二に、ニュータウン再生です。安倍政権がすすめる「国土強靱化」の名による「鉄とコンクリート」戦略の餌食にさせず、住民のくらしをまもる観点からのニュータウン再生が求められます。

第三に、国の安倍政権のもと、医療・介護、生活保護、障害者、子育て…で、制度の改悪が目白押しなのか、くらしを守る防波堤としての市の役割をどう発揮できるか?が問われます。



住民の願いに反する国政の大きな流れに言うべきことは言う
集团的自衛権行使容認、原発再稼働など、住民の願いに逆行する国政の方向性は、従来通り、「言うべきことはきちんと言う」姿勢を期待します。

地域・住民をキーワードに

2期目にのぞむ

多摩市長 阿部ひろゆき



阿部ひろゆき・市長

多くの市民の皆さまからの負託をうけ、多摩市長として「多摩みらいビジョン」第二ステージを掲げた第二

期目がスタートしました。6月9日から開催される平成26年多摩市議会第2回定例会において所信表明を行います。本年2月の市議会で行った平成26年度施政方針でも述べましたように、「これからの社会のキーワード」は「コミュニティの醸成」と「幸福感の創造」だと考えています。そのた

めには、①地域内分権の推進(地域の課題を地域で解決していく仕組み)、②地域リーダーの育成と市民協働のまちづくり、③行政職員の資質能力の向上と「ローディネーター」のアップが求められてくると考えています。

「多摩みらいビジョン」第二ステージでは、政策の柱として三つのテーマを掲げました。①健康都市(スマートウェルネスシティ)・多摩 ②市民がデザインするまち・多摩 ③発信! 未来へつなぐまち・多摩です。具体的には、待機児対策など子育て・子育てへの支援、健康寿命日本一のまちをめざす「多摩市版地域包括モデル」のまちづくり、災害時要援護者への支援など災害に強いまちづくり、ニュータウンの再生と魅力あるまちづくり、再生可能エネルギーの活用拡大など、未来に夢を描けるまちづくりを進めてまいります。

そのためには、行財政改革の継続と公共施設の見直しは避けては通れません。引き続き、丁寧

な対話と徹底した情報公開により市民の皆さまへの説明責任を果たしながら前へ進めてまいります。

これからも、考えや立場の違いを超え、平和、人権、環境を

市民のハンドメイドによる 再生可能都市の創造

多摩住民自治研究所研究室長

池上洋通



池上洋通さん

大事にした市政運営を行ってまいります。引き続き、皆様のご理解・ご協力よろしく願います。

施設などをどうするかが、最大の課題です。それを文字通りの市民参加で実現したいというのが阿部市長の公約の柱でありました。必ず成功させましょう。

注意しなければならぬことは二つあります。第一は、土建事業に付きまといがちな「利権」による社会の「不良化」です。そして第二は、「建設ブーム」的な浮かれた経済状況による地域経済の破壊です。いうまでもなく、土建事業とその労働は、社会的システムを支える条件を生み出す尊い営みです。それを、

薄汚れた手で支配させるようなことがあってはならない、ということと、そこにあらわれる「活気」は、期限付きのものだ、ということとです。

けれども例えば「市の財政が困難」ということを一面的に理解すると、「あれもこれも止むを得ない」といった空気が生み出され、批判的な発言が弱くなったりします。そのとき「国の補助」「都の助成」が高く評価され、それに伴う市の借入金(市債)の累積には目が届かなくなったりします。

ここでいま立つべき位置を言うとするれば「持続可能な都市をつくる」ということとです。

第一は、「使えるものを壊さない」「補修で延命できるものはそれに頼る」という「もったいない精神」の徹底であり、「本当に必要なものだけを持つ」という生活態度の確立と、再生可能エネルギーシステムの実現です。

第二は、「人間の建設」に力



を尽くすことです。憲法で言えば二五条(健康で文化的な生活の保障)と二六条(生涯にわたる教育・学習権の保障)の精神です。

そして第三に、平和のための相互支援を基本において、国内では被災地と沖縄を最優先に、海外ではアジアと世界の人々と自治体に呼びかけて、恒久的な連帯と交流のプログラムを生み出すことです。

阿部市政第二期を、文字通り市民のハンドメイドによる「再生可能都市」の創造のスタートにしてください、と心から願っています。

多摩市が公共施設の見直し方針で「豊ヶ丘複合館の廃止・こぶし館への統合」を打ち出したことに対し、いま、館の存続を求める運動がひろがっています。館には、図書館、児童館、学童クラブ、地区市民ホール、老人福祉館が集約され、駅から遠く高齢化著しい地域で、子どもから高齢者までの多世代が集い、触れ合う貴重な施設です。利用者は図書館6・4万人など年間延べ10万人超で、地域コミュニティの拠点。豊ヶ丘中学校と南豊ヶ丘小学校の廃校でこの地域では市民が利用できる唯一の公共施設。築35年ですが、優れた耐震性をもっています。

地域コミュニティの拠点廃止は地域の衰退をもたらす

光永正直

へ陳情を出し、署名3551筆で、12月議会と3月議会で継続審査」、「3回の市長懇談会」：11月28日の参加者・82人、2月13日の参加者・62人、4月22日の参加者・76人」、「市議会の総務常任委員会の議員と懇談」などをすすめてきました。

署名は、館利用者、分譲集合

住宅の管理組合、落合・貝取地域にもひろがり、4月22日の「市長との対話・討論会」では、豊ヶ丘13管理組合中9組合が階段にビラを貼りだすなど、市長選後わずか8日間の取り組みで76人が参加しました。

この場では、過去2回の市長懇談会での論点：①複合館の実態評価、②まちづくりと学校跡地、③90億円、大規模施設を

後回しにしたままでの地域施設廃止先行…をめぐって、5人のパネラーと市長が討論しました。各パネラーは、「トップダウンとボトムアップが逆、お上から廃止がポンと出てくる」「『こぶし館に行け』は不可能。豊ヶ丘、落合、貝取の3つの老人会が消える」「市長の公約…地域コミュニティの醸成や幸福感の創造と相いれない。存続の決断を」「図書館とコミュニティの拠点を失った毎日を市長は想像してほしい」など、館の存続を迫りま

した。

阿部市長は、「コミュニティは大事」「2期目をゼロからスタート…諸計画を見直す」などとしながら、「総合的に判断していく」と答えました。

これから

当面、第4回懇談会(7月予定)の準備、6月市議会での陳情採択のとりくみ…など。

映画上映を終えて

・ 上映実行委員会から

みんなの会の事務局メンバーが呼びかけて「実行委員会」を立ち上げてから3カ月あまり、16日の上映会には360人を超えるかたに足を運んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

「観たいと思っていだけれど、普通の映画館ではやってないので感謝しています」そういう声がたくさんあったのは、実行委員のメンバーにとって疲れを吹き飛ばす反応でした。自然エネルギーや内部被曝など、意見の相違はあっても「原発の再稼働反対」「原発ゼロへ」はみんな一致できる場所です。多摩市のなかで「どのようなかたがでバトンを渡し」「さよなら原発」につながるか、これから大きな課題です。

実行委員会のメンバーを中心に、原発なくす多摩市の運動をもっと大きくしていくこと意見は一致、これからみなさんにも呼びかけていきます。ぜひ参加してください。



「市民白書」をぜひ

「おや、タマちゃんじゃないか。久しぶり。これ知ってるかい。これは、『みんなの会』でつくった市民白書だよ。」

「市民白書？」
「そう、この白書には、①多摩市に住んでいる人たちは、どんな多摩市を望んでいるんだろう、ということ、②市政の各分野の現状と課題、改革の方向性を自分たちで考えてまとめたもの、その、両方が載っている。」

「へーっ、貴重な資料がいっぱいなんだね。」
「おっ、わかってるね。それに、このようなものを、市民が自分たちの手でつくったというのなかなかないことなんだ。」
「がんばったんだ。」
「でも、つくっておわりじゃない。これから、この市民白書をつかって学習し、自分たちの望む多摩市を、どっつくっていくかということをしっかり考えていくことしているだ。これこそが、『自治』というものだ。」

「なんか、かっこいい。(拍手)」
まだ「市民白書」をお持ちでない方は、ぜひお求めください、090・44333・6789(山本)へ 一冊 1000円です。

みんなの会 参加団体一覧

- ▼教育を考える多摩市民の会
- ▼原水爆禁止多摩協議会
- ▼公共一般多摩支部
- ▼新日本婦人の会多摩支部
- ▼全国福祉保育労働組合保育園分会
- ▼全国福祉保育労働組合第一保育園分会
- ▼多摩稲城労連
- ▼たま健康友の会
- ▼多摩市財政分析研究会
- ▼多摩市職員組合
- ▼多摩市に公立の特別養護老人ホームをつくる会
- ▼多摩生活と健康を守る会
- ▼東京土建多摩稲城支部
- ▼東京都教職員組合多摩地区協議会
- ▼日本共産党南多摩地区委員会
- ▼年金者組合多摩支部
- ▼福祉をすすめる多摩市連絡会
- ▼南多摩民主商工会